

試験設備の紹介

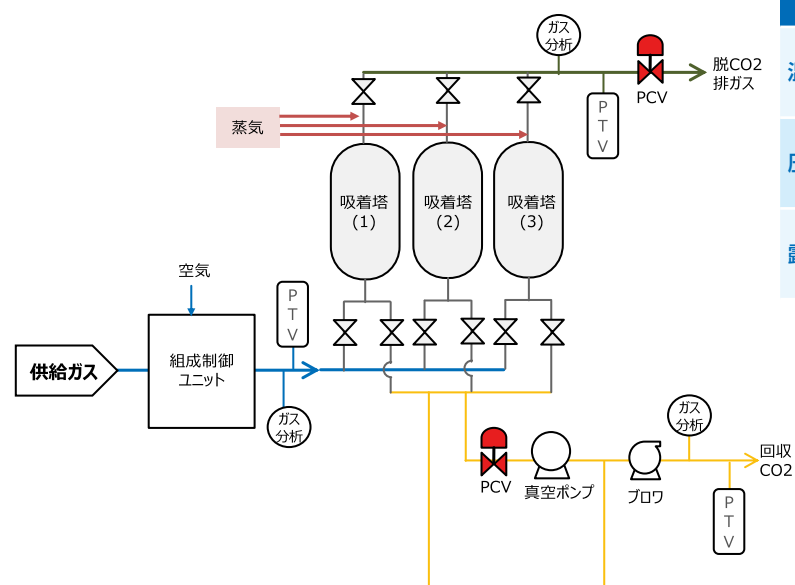
PSA 試験設備

PSA法は、Pressure Swing Adsorption（圧カスイング吸着）の略で、ガスの圧力を変化させて吸着と脱着を繰り返すことで、目的のガスを分離・精製する技術です。本試験設備では、実排ガスを用いて吸着材の性能を知ることができます。

PSA 試験設備

- 都市ガスボイラの排ガスを用いたCO₂回収試験にて、吸着材性能の評価を行います。
- CO₂濃度は空気希釈により、～9%の範囲で変えて試験をすることができます。

PSA 試験設備の簡易フロー



	標準条件 (ゼオライト 13X)	試験条件
温度 [℃]	30	30 ～ 50
圧力 [kPaA]	吸着：101 ～ 900 脱着：10 ～ 101	吸着：101 ～ 900 脱着：10 ～ 101
露点 [℃]	-60	-60 ～ 50 (最大：ガス温度飽和)

投入 (1塔あたり 60 kg)



ゼオライト 13X
(標準材)



PSA 試験設備外観